



宮城野心理臨床センター主催 ロールシャッハ 集中事例検討会

ロールシャッハ法の学習には、少なからず難しさを感じることもあるかと思います。しかしながら、ロールシャッハ法を学ぶことによって、日々の臨床がより豊かに、そして深みを持って展開されていくことは確かなことでしょう。それは、心理検査を施行しない臨床現場であっても同様です。

本研修会では、吉村聡先生と人見健太郎先生のお二人を仙台にお迎えして、二日間にわたり、基調講演・事例検討・座談会を通して、「ロールシャッハ法を学ぶこと」について共に深めてまいります。参加される皆さまとご一緒に、実りある学びの時間を築いていければと願っております。ぜひ奮ってご参加ください。

日 程

2026年1月11日（日）13:00～17:15

基調講演 『ロールシャッハの学びと日常臨床』

講師 人見健太郎先生 司会・討論 吉村聡先生

事例検討 ①初学者の事例

2026年1月12日（月・祝）10:00～17:00

事例検討 ②包括システムによるロールシャッハ法

事例検討 ③片口法によるロールシャッハ法

座談会 『ロールシャッハ法を学ぶこと』

吉村聡先生×人見健太郎先生 司会 久保香織（宮城野心理臨床センター）

参加費

12000円 ※ロールシャッハ研修会ベーシックコース参加者は無料になります

場 所

東北福祉大学東口キャンパス

仙台市宮城野区榴岡2丁目5-26

仙台駅より徒歩5分

右記QRコードより
お申込下さい

詳しいタイムスケジュール
もこちらのサイトで
ご確認ください



※ 臨床心理士研修ポイントを申請予定です

<https://forms.gle/Fcdd7pRpJwZQHJDG7>

お問合せ：（一社）宮城野心理臨床センター
研修部

<https://www.miyaginoshinri-center.com>
miyaginocentercp.kensyu@gmail.com

講師

吉村 聡

人見 健太郎

早稲田大学文学研究科博士後期課程単位取得退学。東北大学教育学研究科講師等を経て、2019年より上智大学総合人間科学部教授。総合病院や開業臨床にて臨床実践を積む。精神分析家(日本精神分析協会会員)、臨床心理士、博士(文学)。

著書：『続・ロールシャッハテストの所見の書き方』（岩崎学術出版社 2024年）他

翻訳：Kleiger（著）『ロールシャッハ法による精神病現象の査定』（馬場禮子との共同監訳、創元社、2020年）他

茨城大学大学院人文科学研究科修了。大野クリニック(現 医療法人南山会柵町診療所)を経て、現職みとカウンセリングルームどんぐり所長。公立高校スクールカウンセラー、茨城大学教育学部養護教諭養成課程非常勤講師等兼任。2001年から2002年、英国タヴィストッククリニック思春期青年期部門留学。臨床心理士。

著書：『学校臨床に役立つ精神分析』（誠信書房 2016年 共著）『力動的心理査定-ロールシャッハ法の継起分析を中心に-』（岩崎学術出版社 2017年 共著）他

講師の先生方からのコメント

吉村 聡先生

ロールシャッハ法は深遠で魅力的な検査です。講習会という方位磁針を手に、杜の都仙台で、このロールシャッハの森を体験してみませんか。一緒に学びながら体験を分かちあえる機会を楽しみにしています。

人見 健太郎先生

仙台で皆さんにお会いできるのを楽しみにしております！

ロールシャッハ法の醍醐味はやはり事例検討会にあると思うので、3ケース、ワクワクしながら考えたいと思います。

